

受験番号

特別支援学校高等部 書道 解答用紙

(4枚のうち1)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

4

得点

(1)
① 宝
② 転
③ 担
④ 励
⑤ 圧

(2)
① 楽
② 高
③ 晴
④ 平
⑤ 残

(3)
① 帝
② 功
③ 成
④ 調
⑤ 使

(4)
① 幾
② 由
③ 止
④ 知
⑤ 衣
⑥ 遠

受験番号

特別支援学校高等部 書道 解答用紙 (4枚のうち2)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

4

(続き)

(5)			
⑦	⑤	③	①
黄庭経	東晋	光明皇后	楽毅論
/	/	/	/
	⑥	④	②
	王羲之	臨書	正倉院
	/	/	/

ア (6)
つらゆき(支) おめ(免)のか(可)の(能)ふり(利)お け(介)るゆき(支)にうつり(利) せはたれか(可)ことこと わき(支)てをらま(万)し(志)
/

イ (6)		
⑤	③	①
升色紙	継色紙	三色紙
/	/	/
	④	②
	小野道風	散らし書き
	/	/

特別支援学校高等部 書道 解答用紙

(4枚のうち3)

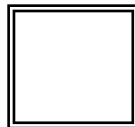
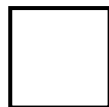
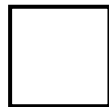
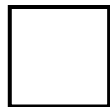
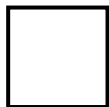
(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

受験番号

4

(続き)

(7)				
⑤	④	③	②	①
<p>作品の題材として著作物を扱う時には、著作権を持つ者の了承が必要。作家の作品同様、生徒作品にも著作権があり、無断でSNSに掲載したり、使ったりすることはできない。著作権などの知的財産権が文化・社会の発展の維持に重要な役割を担っている。</p>	<p>平安時代、漢文を読む際に漢字の送り仮名などを小さく書くために、画数が少なく書きやすいものとして漢字の一部分を取って作られた文字のこゝと。例として、イ(伊の一部)ウ(宇の一部)がある。</p>	<p>秦の始皇帝が中国全土を統一した際、字体の統一を行ったが、この時李斯が作った書体を小篆という。それ以前の篆書を、小篆に対して大篆とよぶ。代表的な古典としては、大篆には石鼓文があり、小篆には泰山刻石がある。</p>	<p>中国河南省洛陽にある遺跡。仏像と造像記の碑が収められている。最古と言われている古陽洞には、龍門二十品とよばれる北魏時代の造像記をはじめ、多くの造像記が見られる。</p>	<p>王羲之と子の王献之の二人を称した呼称。王羲之を大王、王献之を小王と呼ぶ。王羲之の作品には蘭亭序(叙)や集字(王)聖教序、王献之の作品には中秋帖や地黄湯帖がある。</p>



受験番号

特別支援学校高等部 書道 解答用紙

(4枚のうち4)

(解答は指示がある場合以外、解答用紙に楷書で記入すること)

5

得点

(1)

字形：顔氏家廟碑は向勢で円勢、正方形に近い形をしている。牛櫛造像記は方勢で、点画がとがっていて、角張っている。右上がりの字形。

用筆・運筆：顔氏家廟碑は円筆で藏鋒、顔法という用筆法で、点画の特徴から蚕頭燕尾と言われている。牛櫛造像記は方筆で露鋒、側筆で書かれている。

学習活動：

- ・見た時の第一印象を大切にし、自分の感じ方や好みなどを話し合う。
- ・感じたことを自ら把握し確認するため、書の上さや美しさと、表現効果との関連について考える。
- ・書の美に対する直感的把握を、グループ活動の中で共有し、ワークシートなどを活用してまとめめる。
- ・書の見方や鑑賞内容をクラス全体で発表し合い、互いの考えを共有する。

指導上の留意点：

- ・視聴覚機器、情報機器を効果的に活用して、直感的把握につなげる。
- ・グループやクラス全体で発表させる際に、他者の意見を否定しないなど話合いのルールを徹底し、個々の意見が大切にされるよう配慮する。
- ・直感的把握から臨書の表現に生かせるよう、具体的な用筆・運筆、字形の構成についての用語にも触れる。

(2)

